

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	独立行政法人国立科学博物館運営費交付金 に必要な経費		担当部局	生涯学習政策局		作成責任者			
事業開始・ 終了(予定)年度	平成13年度～		担当課室	社会教育課		社会教育課長 伊藤 学司			
会計区分	一般会計		施策名	I-2 生涯を通じた学習機会の拡大					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人通則法第46条		関係する計画、 通知等	生物多様性国家戦略(平成22年3月16日閣議決定) 科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	自然史・科学技術史に関する中核的研究機関として、また国内の主導的な博物館として、地球や生命、科学技術に対する認識を深め、人々が生涯を通じて人類と自然、科学技術の望ましい関係について考える機会を提供する。								
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	(1)調査研究(自然史及び科学技術史に関する中核的研究機関として、体系的に収集・保管している標本資料等に基づく実証的な研究を実施) (2)標本資料の収集・保管(調査研究に裏付けられた標本資料をナショナルコレクションとして収集・保管し、内外の研究や展示等の利用に供するとともに、将来世代へ継承) (3)展示・学習支援活動(生涯を通じた国民の科学リテラシーの向上を図るため、博物館ならではの展示・学習支援活動により、調査研究及び標本資料の収集で得られた知的・物的資源を社会へ還元)の三つの活動を、標本資料と研究者を介して、一体不可分で実施								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
		当初予算	3,120	3,044	3,385	3,034	2,791		
		補正予算	0	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
	計	3,120	3,044	3,385	3,034	2,791			
	執行額	3,120	3,044	3,385					
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	入館者数		成果実績	人	1,774,179 累計7,053,610	1,862,655 累計8,916,265	1,803,949 累計1,803,949	23～27年度の5 年間で650万人	
			達成度	%	117.6	148.6	27.8		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	登録標本資料増加数		活動実績 (当初見込み)	点	147,737 (5年間(18～22 年度)で20万点)	89,956 (5年間(18～22 年度)で20万点)	48,287 (5年間(23～27 年度)で30万点)	- (5年間(23～27 年度)で30万 点)	
			算出根拠	国立科学博物館においては、調査研究、標本資料の収集・保管、展示・学習支援活動を一体的に展開しているため、運営費交付金(3,385百万円)をそれぞれ、上記指標の入館者数(平成23年度:1,803,949人)、登録標本資料数(平成23年度末:4,075,991点)で除した。					
単位当たり コスト	・入館者一人当たり運営費交付金 (1876円/人) ・登録標本資料1点当たり運営費交付金 (830円/点)								
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	独立行政法人国立科学博物館運営費交付金	3,034百万円	2,791.4百万円						
	計	3,034百万円	2,791.4百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	当事業は独立行政法人通則法及び国立科学博物館法等に定められた、国民生活及び社会経済の安定等の公共上の見地から確実に実施されることが必要な事務及び事業である。また、円滑な事業の実施により適正な予算の執行が行われている。さらに、業務の運営に外部有識者を参加させた経営委員会、研究評価委員会を組織し、積極的に他者の意見・評価を傾聴する適切な組織運営が行われている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定は、業務の特殊性によるものを除き、一般競争入札により行っており、選定の妥当性及び競争性を確保するとともに単位あたりコストの削減に努めている。また、「随意契約見直し計画」において競争性のある契約に移行することした契約案件については、全て競争性のある契約に移行している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	国立科学博物館法に基づき、自然史に関する科学その他の自然科学及びその応用に関する調査及び研究並びにこれらに関する資料の収集、保管及び公共への供覧等を行うことにより、自然科学及び社会教育の振興を図ることを目的として実施しており実効性の高い事業である。成果目標である入館者数は5か年の計画の内、単年度に区切った目標となるペースを上回っている。活動実績については、23年度の研究機能及び標本資料の筑波地区移転という特殊要因の中で、目標値の達成に向けて着実に進捗している。また各事業年度に係る業務の実績について評価委員会の評価や外部の有識者を参加させた経営委員会、外部評価委員会において意見を受けるなど適切な事業実施に努めている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本事業により、国立科学博物館の目的である自然史に関する科学その他の自然科学及びその応用に関する調査及び研究並びにこれらに関する資料の収集、保管及び公共への供覧等を行うことにより、自然科学及び社会教育の振興が図られており、評価委員会の評価結果からも一定の成果が見取れる。また、外部有識者を参加させた経営委員会や研究評価委員会の開催などにより業務運営の質的向上が図られている。なお、引き続き受託研究や寄付金等による外部資金を積極的に導入することで、より計画的な業務運営の推進を実施していくとする。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	1. 事業評価の観点、独立行政法人国立科学博物館の運営に必要な経費を当該法人の自己収入との収支差により交付する事業である。 2. 所見：中期計画に基づく効率化による経費の節減や入館者数の増加に伴う自己収入の拡大を図るとともに、民間からの協賛・寄付などを積極的に募るなど、自己収入の拡大に努めていることは評価できる。なお、引き続き更なるコスト削減に取り組むとともに、自己収入の増加を図ることにより、国から交付する運営費交付金を縮減すべきである。また、予算執行に当たっては、1者応礼となっている案件が見受けられることから、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	所見を踏まえ、自己収入の拡大や人件費や物件費の効率化などにより、平成25年度要求については、概算要求に▲114百万円を反映した。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>【事業仕分け第2弾】</p> <p>■事業番号A-13「美術品等の収集・保管事業」</p> <p>(5)「資料収集・保管(特に、YS-11の所蔵保管)」</p> <p>(6)「施設内店舗用地の賃借((財)科学博物館後援会等への賃借)」</p> <p>【WG評価結果】</p> <p>(5)「資料収集・保管(特に、YS-11の所蔵保管)」</p> <p>当該法人が実施し、事業規模は現状維持(ただし、自己収入の拡大や民間からの協賛・寄付の募集を積極的に行う)</p> <p>(6)「施設内店舗用地の賃借((財)科学博物館後援会等への賃借)」</p> <p>当該法人が実施し、事業規模の縮減(競争的な入札の導入によるコスト縮減、自己収入の拡大を徹底的に行う)</p> <p>【とりまとめコメント】</p> <p>(5)「資料収集・保管(特に、YS-11の所蔵保管)」</p> <p>公開すべき、外部の人に向けて展示をすべきではないかというのが多数。コストの精査、自己収入の拡大、民間からの寄付、協賛を募るべきである、という意見が出ている。</p> <p>比較検討して、もう少し早急に具体的な数値を出して、これをどうするのか、そういう検討を踏まえて、そのような視点で当該法人の実施、規模の現状で行うという結論とする。</p> <p>(6)「施設内店舗用地の賃借((財)科学博物館後援会等への賃借)」</p> <p>意見は割れているが、競争的な入札によるコスト縮減、自己収入の拡大についても検討すべきだと意見も出ておりますので、そういう意見も踏まえながら規模の縮減をしていただくということでとりまとめる。</p> <p>なお、これを踏まえ、</p> <p>・YS-11の公開については、平成23年度は羽田空港における「空の日フェスティバル」において一般公開を実施した。また、常設展示の「航空技術の発展」コーナーに募金箱を設置し、引き続き寄付の拡大に努めている。今後の保存・公開の在り方については、平成24年3月に中間的な論点整理をとりまとめた。</p> <p>・施設内店舗用地の賃借については、平成22年度中に平成23年度からの店舗運営事業者選定の企画競争を複数者の応募を得て実施した。</p> <p>・生物多様性国家戦略2010</p> <p>http://www.env.go.jp/press/file_view.php?serial=15315&hou_id=12273</p> <p>・科学技術基本計画</p> <p>http://www.mext.go.jp/component/a_menu/science/detail/_icsFiles/fieldfile/2011/08/19/1293746_02.pdf</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0043	平成23年行政事業レビュー	0065

※平成23年度実績を記入

文部科学省
3,385百万円
(交付金)

事業概要
 (1) 調査研究(自然史及び科学技術史に関する中核的研究機関として、体系的に収集・保管している標本資料等に基づく実証的な研究を実施)
 (2) 標本資料の収集・保管(調査研究に裏付けられた標本資料をナショナルコレクションとして収集・保管し、内外の研究や展示等の利用に供するとともに、将来世代へ継承)
 (3) 展示・学習支援活動(生涯を通じた国民の科学リテラシーの向上を図るため、博物館ならではの展示・学習支援活動により、調査研究及び標本資料の収集で得られた知的・物的資源を社会へ還元)の三つの活動を、標本資料と研究者を介して、一体不可分で実施

〔交付〕

※国費投入額と総事業費との差額は、自己収入等である。

(A)
 (独)国立科学博物館
 4,021百万円
 (総事業費)

(B)
 展示事業
 833百万円

(C)
 調査研究事業
 2,208百万円

(D)
 教育・普及事業
 399百万円

(E)
 法人共通
 581百万円

事業概要
 調査研究の成果と標本資料を活用し、上野本館、筑波実験植物園、附属自然教育園で展開する常設展の他、人々の興味や関心の高いテーマで特別展や企画展を実施する。

事業概要
 地球と生命の歴史、科学技術の歴史など、自然史・科学技術史に関する調査研究を実施するとともに、研究によって価値付けられた標本資料を適切に保管し、将来へ継承する。

事業概要
 調査研究の成果と標本資料を活用し、児童生徒から一般成人、教員等を対象に、講義や体験教室等多様な事業を、学会や企業と連携しつつ実施するとともに、学校との連携を図る事業や学習プログラムの開発・普及を推進する。

事業概要
 運営管理部門にかかる経費。

(B)展示事業

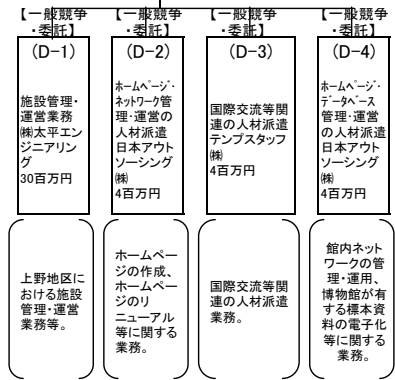
【一般競争・委託】 (B-1) 施設管理・運営業務 株本平エンジニアリング 167百万円	【一般競争・委託】 (B-2) 展示維持管理業務 ノムラテクノロジー 35百万円	【一般競争・委託】 (B-3) 国立科学博物館発行雑誌企画編集等業務 樹学研教育出版 19百万円	【一般競争・委託】 (B-4) 支障樹木の伐採等作業 株日比谷アメン 14百万円	【公募・委託】 (B-5) 「恐竜の世界」テララサウルス映像修正業務 太陽企画株 9百万円	【公募・委託】 (B-6) 本館庁舎等機械整備業務 セコム株 9百万円	【企画競争・委託】 (B-7) 企画展「ハイオクソグレン」展示設計・制作等業務 株日展 9百万円	【企画競争・委託】 (B-8) 企画展「化学者展」展示設計・制作等業務 中央宣伝企画株 8百万円	【一般競争・委託】 (B-9) 危険樹木の伐採等作業 株柳島寿々喜園 5百万円	【一般競争・委託】 (B-10) 附属自然教育園維持管理業務 (財)野外自然博物館後援会 4百万円
上野地区における施設管理・運営業務等。	上野地区における展示維持管理業務等。	国立科学博物館が発行する雑誌の制作に必要な企画立案、デザイン、製本等。	附属自然教育園における支障樹木の伐採等作業。	最新の研究成果を反映させるための映像修正業務。	夜間等における展示室等機械整備並びに緊急事態発生時における対応業務。	企画展会場の設計・施工、期間中のメンテナンス、撤去業務。	企画展会場の設計・施工、期間中のメンテナンス、撤去業務。	附属自然教育園における危険樹木の伐採等作業。	附属自然教育園の植物育成管理及び維持管理業務等。

(C)調査研究事業

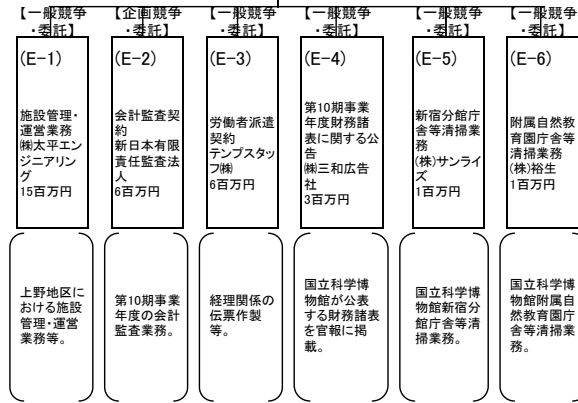
【随意契約・委託】 (C-1) 貸室原状復旧 三井不動産株 16百万円	【一般競争・委託】 (C-2) 図書室業務 株図書館流通センター 11百万円	【公募・委託】 (C-3) X線装置移設等業務 株リガク 9百万円	【公募・委託】 (C-4) ガンマ線分析システム移設業務 株キャンベラジャパン(株) 6百万円	【公募・委託】 (C-5) 高精度安定同位体比質量分析システム移設業務 株サーモフィッシュサイエンティフィック 4百万円	【一般競争・委託】 (C-6) 動物死体除肉処理作業 株エルエス工業 4百万円	【一般競争・委託】 (C-7) 理工学関係資料移設業務 (株)鈴木商会 2百万円	【一般競争・委託】 (C-8) 産業技術史資料の保存状況調査 株プロス 2百万円
産業技術史資料情報センター移転に伴う貸室原状復旧。	国立科学博物館図書室の運営。	大型研究機器の筑波地区移設業務。	大型研究機器の筑波地区移設業務。	大型研究機器の筑波地区移設業務。	実験動物関係等廃棄物処理。	理工学関係資料の筑波地区移設業務。	産業技術史資料の保存状況にかかる調査業務。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

(D)教育・普及事業



(E)法人共通



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。使
 途と費目の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

(A) 独立行政法人国立科学博物館			(E) 法人共通		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務経費	水道光熱費、消耗品費、保守整備費、賃借料、旅費、謝金等	1,279	業務経費	委託費、保守整備費、修繕費、消耗品費、通信費等	350
人件費	給与、賞与等	1,083	人件費	給与、賞与等	230
業務経費	委託費	664	資産購入	器具備品等	1
業務経費	運搬費	554			
業務経費	修繕費	311			
資産購入	標本、器具備品、施設設備等	130			
計		4,021	計		581
(B) 展示事業			(B-1) 株式会社太平エンジニアリング		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務経費	運搬費、委託費、修繕費、水道光熱費、消耗品費等	764	役務	国立科学博物館施設管理・運營業務	167
人件費	給与、賞与等	65			
資産購入	標本等	4			
計		833	計		167
(C) 調査研究事業			(B-2) ノムラテクノ株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務経費	運搬費、委託費、修繕費、水道光熱費、消耗品費等	1,427	役務	国立科学博物館展示維持管理業務	35
人件費	給与、賞与等	657			
資産購入	標本、器具備品等	124			
計		2,208	計		35
(D) 教育・普及事業			(B-3) 株式会社学研教育出版		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務経費	運搬費、委託費、修繕費、水道光熱費、消耗品費等	267	役務	国立科学博物館発行雑誌企画編集等業務	19
人件費	給与、賞与等	131			
資産購入	施設設備等	1			
計		399	計		19

(B-4)株式会社日比谷アメニス			(B-8)中央宣伝企画株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	国立科学博物館附属自然教育園における支障樹木の伐採等作業	14	役務	企画展「化学者展」展示設計・制作等業務	8
計		14	計		8
(B-5)太陽企画株式会社			(B-9)株式会社柳島寿々喜園		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	「恐竜の世界」ティラノサウルス映像修正業務	9	役務	国立科学博物館附属自然教育園における危険樹木の伐採等作業	5
計		9	計		5
(B-6)セコム株式会社			(B-10)財団法人野外自然博物館後援会		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	国立科学博物館本館庁舎等機械警備業務	9	役務	国立科学博物館附属自然教育園維持管理等業務	4
計		9	計		4
(B-7)株式会社日展			(C-1)三井不動産株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	企画展「ハイロキングサイエンス」展示設計・制作等業務	9	役務	貸室原状復旧	16
計		9	計		16

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。使途と費目の双方で実情
 が分かるように記載)

(C-2)株式会社図書館流通センター			(C-6)エルエス工業株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	図書室業務	11	役務	動物死体除肉処理作業	4
計		11	計		4
(C-3)株式会社リガク			(C-7)有限会社鈴木商会		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	X線装置移設等業務	9	役務	理工学関係資料移設業務	2
計		9	計		2
(C-4)キャンベラジャパン株式会社			(C-8)プロス株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	ガンマ線分析システム移設業務	6	役務	産業技術史資料の保存状況調査	2
計		6	計		2
(C-5)サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社			(D-1)株式会社太平エンジニアリング		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	高精度安定同位体比質量分析システム移設業務	4	役務	国立科学博物館施設管理・運營業務	30
計		4	計		30

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。使途と費目の双方で実
 情が分かるように記載)

(D-2)日本アウトソーシング株式会社			(E-2)新日本有限責任監査法人		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	ネットワーク・ホームページ管理運営の人材派遣	4	役務	平成22年度会計監査契約	6
計		4	計		6
(D-3)テンプスタッフ株式会社			(E-3)テンプスタッフ株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	国際交流等関連の人材派遣	4	役務	経理関係の伝票作製等	6
計		4	計		6
(D-4)日本アウトソーシング株式会社			(E-4)株式会社三和広告社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	ネットワーク・データベース管理運営の人材派遣	4	役務	第10期事業年度財務諸表に関する広告(官報掲載)	3
計		4	計		3
(E-1)株式会社太平エンジニアリング			(E-5)株式会社サンライズ		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	国立科学博物館施設管理・運営業務	15	役務	国立科学博物館新宿分館庁舎等清掃業務	1
計		15	計		1

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。使途と費目の双方で実情
 が分かるように記載)

(E-6)株式会社裕生

費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	国立科学博物館附属自然教育園庁舎等清掃業務	1			
計		1	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロックごと
に最大の金額が支出され
ている者について記載す
る。使途と費目の双方で
実情が分かるように記
載）

B.展示事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社太平エンジニアリング	国立科学博物館本館における施設管理・運営業務	167	3	90.4%
2	ノムラテクノ株式会社	国立科学博物館本館における展示維持管理業務	35	1	97.1%
3	株式会社学研教育出版	国立科学博物館が発行する雑誌の制作に必要な企画立案、デザイン、製本等	19	2	96.5%
4	株式会社日比谷アメニス	附属教育自然園における支障樹木の伐採等作業	14	2	96.4%
5	太陽企画株式会社	シアター360「恐竜の世界」ティラノサウルス映像修正業務	9	公募	-
6	セコム株式会社	国立科学博物館本館庁舎等機械警備業務	9	公募	-
7	株式会社日展	企画展「ハイオクシングサイエンス」展示設計・制作等業務	9	企画競争	-
8	中央宣伝企画株式会社	企画展「化学者展」展示設計・制作等業務	8	企画競争	-
9	株式会社柳島寿々喜園	附属自然教育園における危険樹木の伐採等作業	5	2	98.2%
10	財団法人野外自然博物館後援会	附属自然教育園の植物育成管理及び維持管理業務等	4	1	88.1%

C.調査研究事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三井不動産株式会社	産業技術史資料情報センター移転に伴う貸室原状復旧	16	随意契約	-
2	株式会社図書館流通センター	国立科学博物館図書室の運営	11	1	92.7%
3	株式会社リガク	X線装置移設等業務	9	公募	-
4	キャンベラジャパン株式会社	ガンマ線分析システム移設業務	6	公募	-
5	サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社	高精度安定同位体比質量分析システム移設業務	4	公募	-
6	エルエス工業株式会社	動物死体除肉処理作業	4	1	100.0%
7	有限会社鈴木商会	理工学関係資料移設業務	2	1	97.7%
8	プロス株式会社	産業技術史資料の保存状況調査	2	4	96.2%

D.教育・普及事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社太平エンジニアリング	国立科学博物館本館における施設管理・運営業務	30	3	90.4%
2	日本アウトソーシング株式会社	ホームページの作成、ホームページのリニューアル等に関する業務。	4	5	98.7%
3	テンプスタッフ株式会社	国際交流等関連の人材派遣業務	4	2	98.5%
4	日本アウトソーシング株式会社	館内ネットワークの管理・運用、博物館が有する標本資料の電子化等に関する業務。	4	4	98.3%

E.法人共通

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社太平エンジニアリング	国立科学博物館本館における施設管理・運営業務	15	3	90.4%
2	新日本有限責任監査法人	第10期事業年度の会計監査業務	6	企画競争	-
3	テンプスタッフ株式会社	経理関係の伝票作成等	6	1	83.8%
4	株式会社三和広告社	国立科学博物館が公表する財務諸表を官報に掲載	3	2	100.0%
5	株式会社サンライズ	国立科学博物館新宿分館庁舎等清掃業務	1	2	46.8%
6	株式会社裕生	国立科学博物館附属自然教育園庁舎等清掃業務	1	2	87.0%